

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ地方)	在リヨン領事館事務所 リヨン日本人センター治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 他	2008年5月31日	2008年5月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び領事館ルート	
調査項目:	① 邦人対象の治安情報 ② テロなどの一般治安情報 ③ 今月の出来事 ④ その他の情報		

報告要旨

1、邦人対象の治安情報

- A、一般的傾向
- B、地区別 犯罪集計結果:補足文書 1
- C、多発の手法と場所の特定、防止策 :補足文書 2

A、一般的傾向

今月も相変わらずアパートを訪問しての詐欺事件の被害が報告されている。アポイント無しの訪問者にはドアを開けずに対応するように気をつけたい。路上での暴力をともなった引ったくり事件も数多く報告されている。外出の際には貴重品の管理に注意すること。

[補足文書 1]

B、地区別 犯罪集計結果

[補足文書 1]

2008年5月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨン東	リヨン西	リヨン南	リヨン北	アン県	イゼール県	ロワール県	合計
すり																	0
空き巣	1	1									1	1		1			5
置き引き																	0
引ったくり					1								1				2
万引き																	0
強盗								1			1		2				4
窃盗(車・自転車)			1														1
カージャック						1				1							2
車内盗難											2						2
猥褻行為・強姦																	0
いたずら電話・迷惑																	0
脅し・暴力行為	1	2	1	1	3		1	1	1	5	2	2	2				22
詐欺(カードなど)					1		2			1			1				5
拉致・誘拐						1											1
破損・放火		1									1		1				3
ストーカー						1											1
麻薬取引・所持													1				1
飲酒／無免許運転							1			1							3
その他		1								1			2	1			5
合計	2	5	2	1	5	3	4	2	1	9	7	3	10	2	0	1	57

備考欄: リヨン東→ Meyzieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons
 リヨン西→ Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon
 リヨン南→ Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison
 リヨン北→ Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas

* 数字はプログレ紙に掲載された軽犯罪の記事の数で、統計的な意味はない。

[補足文書 2]

C.多発の手口と場所の特定・防止策(新聞による報道記事から)

① またもや詐欺事件

- 5月7日午後12時30分ごろ、ビルユバンヌ市に住む80歳の女性の自宅に水漏れを口実に配管工が侵入。数分後に警察官を名乗る男が現れ実はこの配管工は偽者であるとして配管工とともにアパートを去った。二人が去った後にこの女性は貴重品が無くなっているのに気付いた。(プログレ紙5月8日付)
- 5月10日正午ごろ、リヨン6区に住む75歳の女性が数日前にベットのマットレスを購入した業者が再び女性宅を訪れた。業者は女性が購入したマットレスは特別な抗ダニ処理が必要だと主張。処理のために100ユーロほどが必要として女性が支払うとその場を去って二度と戻ってくる事は無かった。その後女性はアパート内にあった複数の所持品が無くなっているのに気がついた。(プログレ紙5月14日付)

また詐欺事件ではないが以下のような事件も報告されている。

- 5月24日午後5時ごろ、リヨン5区の96歳の男性のアパートを見知らぬ男が訪問。この男性が男をアパート内に入れることを固く拒否すると、男は刃物を取り出し被害者の喉元につきつけて脅迫。男性がポケットに入っていた現金を渡すと犯人はすぐに逃走した。(プログレ紙5月26日付)

再三注意しているが、アポイント無しの訪問者にはドアを開けないこと。犯罪に巻き込まれる可能性があるので出来るだけドア越しにインターホンで対応するようにする。

② 雨どいを伝って空き巣

5月はじめリヨン2区で16歳の少年が空き巣の現行犯で逮捕された。この少年は他の二人の共犯者らと雨どいをよじ登りアパートに侵入しようとしたところアパート内の住人に気付かれた。(プログレ紙5月2日付)

アパートでも窓の戸締りには十分に気をつけたい。

③ 路上での暴力行為

- 5月1日午前4時ごろリヨン7区のギョーティエール橋付近を歩いていた48歳の男性が二人組の男に襲われて持っていたかばんを奪われた。19歳と16歳の犯人はパトロール中の警官にすぐに逮捕された。(プログレ紙5月3日付)
- 5月5日夜リヨン1区のレピュブリック通りで40歳の男性の若い二人組の男らが突然襲い掛かり、男性の腕時計とカルトブルーを奪って逃走した。犯人はその後逮捕されたが、18歳と26歳の若者であることがわかった。被害者の男性は軽傷を負った。(プログレ紙5月8日付)
- 5月11日午前3時ごろリヨン2区で若い女性が29歳の住所不定の男にハンドバックをひたたくられた。犯人は警察により逮捕されたが、男はこの犯行以外にもベルクール広場付近で50歳の女性のハンドバックをひたたくたと自供した。(プログレ紙5月14日付)
- 5月17日午後4時15分ごろ、ヴィルユバンヌ市で69歳の女性のハンドバックをひたたくって逃走した14歳の少年が警察に捕まった。(プログレ紙5月20日付)
- 5月20日午後3時30分ごろ、リヨン1区で30歳の男性が突然男にナイフで襲われ顔に切りつけられた。犯人の男はただちに逮捕された。(プログレ紙5月23日付)

④ 家政婦が雇い主の小切手やカルトブルーを不正使用

- 5月5日、ビルユバンヌ市に住む30歳の女が詐欺の容疑で逮捕された。調べによるとこの女は同市に住む80歳の女性宅で働いており、この女性のカルトブルーを使用して2,500ユーロほどを使いこんだ疑い。(プログレ紙5月8日付)
- 5月6日ベニシユー市に住む35歳の女が雇い主の小切手を不正使用した容疑で逮捕された。この女はリヨン5区の85歳の女性宅に家政婦として雇われていたときに女性の小切手を一枚盗難。この小切手を不正使用して90ユーロほどの買い物をした。(プログレ紙5月10日付)

自宅に他人が出入りする機会がある場合には、貴重品の管理に充分気をつけること。小切手や現金、カルトブルーを目の見えるところに置いておくなどして誘惑の機会を与えないようにすることが大切である。

⑤ サッカーの試合後の暴動

5月18日、リヨン・ジェルラン競技場で行われたサッカーの試合でのオランピック・リヨネが勝利をおさめたこと

に起因する暴動が見られた。特にリヨン 1 区の市庁舎付近とリヨン中心プレスキル地区において暴動を予想して配置されていた警官隊に暴徒らが瓶を投げつけるなどした。合計で 15 人ほどが暴行の疑いで逮捕された。(プログレ紙 5 月 19 日付)

また、5 月 10 日のOL対ナンシーの試合の際に競技場職員 7 名に暴力行為をはたらいたとして 20 歳から 29 歳の男ら 3 人が 5 月末にリヨン 4 区とサン・プリエストにて逮捕された。(プログレ紙 4 月 1 日付)

スポーツの試合やイベントなど人が多く集まる場所では暴動がおきやすい。出来るだけこのような場所を避けるか、どうしてもその場に赴く場合には周囲の状況に充分に気をつけること。

2.テロなどに関する一般治安情報

今月は特に事件は報告されていない。

3. 在留邦人の被害事例

ローヌ=アルプ地方における被害報告は特になし。(在リヨン領事館ソース)

4.リヨン、ローヌアルプ地方今月の出来事

① ガス漏れ事故が続発

5 月 8 日午前 5 時 30 分ごろ、リヨン 7 区でガス漏れの疑いにより関連建物の住民が避難するという騒ぎがあった。消防隊員とガス会社の職員により 4 時間ほどに渡って調査が行われた結果、地下のガス管が腐食したことによるガス漏れと判明。ガス会社の職員が応急処置をしたあと、避難した住民らは正午ごろ自宅に戻った。リヨン市内およびその近郊では最近ガス漏れ事故が続発しており周辺住民は不安を募らせていた。

最近のガス漏れ事故は以下の通り。

- 2 月 28、29 日ラファイエット通りで起きた 2 重事故。28 日の事故では爆発により消防隊員一名が死亡。その翌日ガス再開通の際に弁が破壊したことにより、再びガス漏れが起きた。
- 4 月 27 日午後、リヨン 7 区マルセイユ通りで強いガスの臭いに気付いた住民が警察に通報。ガス漏れ場所確認と修理のために道路交通およびトラムウェイの通行が中断された。
- 4 月 29 日夜中、リヨン南部のミュラティエール市でガス漏れが原因で建物が爆発。89 歳の女性が死亡した。(以上プログレ紙 5 月 9 日付)
- 5 月 30 日午前 10 時 30 分ごろ、リヨン 3 区のサックス大通りにて、ガス漏れ事故があり事故のあったアパートのある建物の住人 60 人ほどが避難した。(プログレ紙 5 月 31 日付)
- 5 月 30 日午前 11 時ごろ、ウーラン市にてガスを止める作業中に誤ってガス管に穴を開けるという事故があった。警察と消防が午後 7 時ごろまでかかって修復作業を行う間 1600 世帯ほどへのガスの供給が中断された。(プログレ紙 5 月 31 日付)

② 複数の事故によりリヨンとその近郊の幹線道路が大掛かりな渋滞に

5 月 15 日リヨン近郊の道路で 3 件の交通事故があり、幹線道路が大規模な渋滞となった。

9 時 30 分ごろにA46 上り方面のリユー出口付近にて事故があり、ヌー・デ・ジル(le nœud des îles)と呼ばれる高速道路A42 北、A42 および国道N346(ロカード・エスト)が交差する場所付近では 9 時 30 分ごろすでに 11kmほどの渋滞があった。それに加えて 10 時ごろ、同じ場所で 3 台の大型トラックによる追突事故が発生。そのうち一台が可燃性の高い無水エタノールを積んでいたことにより大掛かりな体制が敷かれA42 が完全に、A46 がアンスより下り方面がRN346 がヴォー・エン・ヴランより上り方面が午後 6 時ごろまで通行禁止となった。また午後 15 時ごろ高速道路A6 下りのリモネ付近で 2 台の大型トラックの衝突事故が発生。このうち 1 台が危険物指定されているリチウムを搭載していたために事故処理に時間がかかり、午後 4 時 30 分ごろようやく通行が再開された。

フルビエール・トンネルの大型トラック通行禁止を受けてこれらの幹線道路は普段から交通量が大変多い道路であるために、この日リヨン近郊の幹線道路ではいたるところで大規模な交通渋滞が発生した。(プログレ紙 5 月 16 日付)

③ **ハイパーマーケットを荒らしたグループが逮捕される**

最近リヨンとその近郊のハイパーマーケットが夜間大掛かりな手口で荒らされ、コンピュータや家電製品などがまとめて盗難されるという事件が複数報告されていた。これによりアン県で憲兵隊による捜査が続いていたが5月末に犯行グループの一部と見られる5人が逮捕された。犯人らは盗んだ商品を転売し、被害額はおよそ1万ユーロほどになると見られている。(プログレ紙5月24日付)

④ **フルビエール教会のマリア像が教会前広場に**

5月27日、フルビエール教会のマリア像が、教会前広場に下された。大掛かりな設備を使ってのこの作業は、同教会の修復作業のために行われ約6ヶ月間広場に残される。このマリア像は1852年12月8日以来はじめて屋根から下された。(プログレ紙5月28日付)

⑤ **集中豪雨による被害**

5月30日、ローヌ・アルプ地方を襲った集中豪雨により、リヨン9区ベーズにて大きな被害がでた。15分足らずでリヨン9区のブルゴーニュ通り周辺アパートではどんどん水位があがり1メートル以上の浸水の被害がでた上に道路も閉鎖された。(プログレ紙5月31日付)

5.その他の情報

① **ローヌ河岸整備後1周年**

駐車場となっていたローヌ河岸が市民の憩いの場として整備されてから一年がたった。市民には評判が高く整備は成功したといえるであろう。しかしながらいまだ身体障害者の河岸へのアクセスなど整備が遅れている施設もあり今後も改善が行われる予定である。(プログレ紙5月5日付)

② **公務員ストライキ**

5月15日、全国的に学校教員による教育改革反対ストライキにより多くの学校が閉鎖された。また、22日にはフランス国鉄を中心とする公務員が政府の提案する年金制度改革案に反対して全国ストライキを行い、主に交通機関で多少の乱れが見られた。(プログレ紙5月16、21日付)6月にも新たにストライキが予定されている。

③ **麻薬取引組織の大掛かりな検挙**

5月20日、リヨン地方およびアン県において麻薬取引組織の大掛かりな検挙が行われた。GIGN(対テロ特殊部隊)の援助も用いて行われたこの検挙により、コカインや大麻の取引に関連していた35人が逮捕された。(プログレ紙5月21日付)

③ **ヴィルユバンヌ市のアパートに隠されていた大量の武器を押収**

5月20日、ヴィルユバンヌ市の30歳女性の住むアパートから手榴弾、ロケット弾発射筒、ライフル銃、散弾銃、防弾チョッキなど大量の武器が押収された。これは単なる夜間の騒音騒ぎの通報により駆けつけた警察官が発見したもので、警察ではテロとのつながりは薄く、強盗グループに関与する疑いが高いとしている。(プログレ紙5月28日付)